



札幌の

郷土資料館に 行ってみよう!

制作：札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会
 (事務局：札幌市市民文化局文化財課)
 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階
 TEL 011-211-2312 FAX 011-218-5157

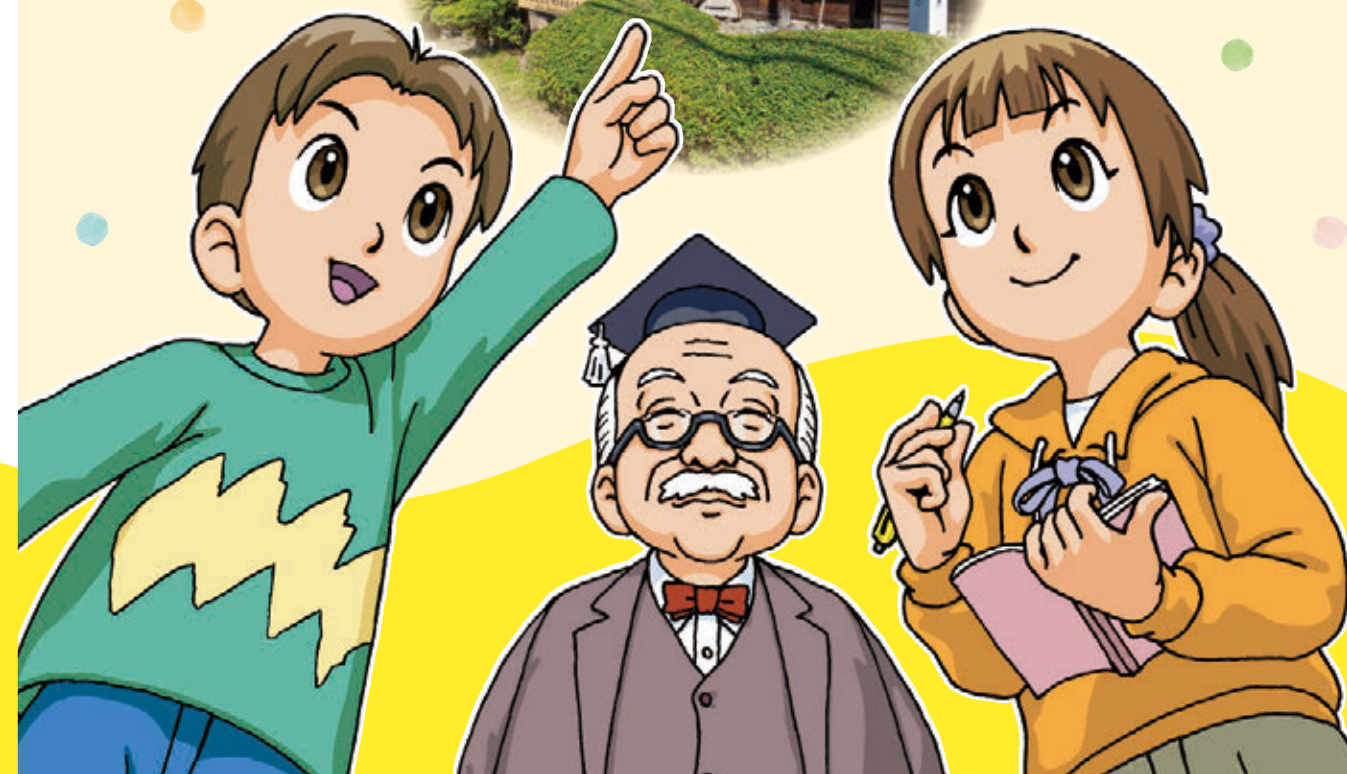
令和7年4月発行



札幌の

\ まちのあゆみがよく分かる! /

郷土資料館に 行ってみよう!



郷土資料館 って、どんなところ？



アコム君

札幌の小学5年生、アコム君とさっちゃんはい地域のあゆみについて調べているところです。そんな二人に、郷土博士が市内の郷土資料館を紹介します！※土地または建物を札幌市が所有している郷土資料館を掲載しています。



さっちゃん



案内人
郷土博士

郷土資料館というのは、
自分たちのまちのあゆみや、昔の人のくらしを学べる場所 なんじゃ。

昔の生活の用具や仕事の道具など
実物をたくさん展示して、
その時代の人々がどんなくらしをしていたのか、
伝えているんじゃよ。



農業に使われていた道具がたくさん！
(写真／つきさっく郷土資料館)



生活の道具も今の時代とくらべてみよう！
(写真／簾舞郷土資料館)

明治2年(1869年)に、
明治政府は北海道を開拓するため、
「**開拓使**」という役所を作って、
本州から北海道への移住が本格化したんじゃ。



(写真所蔵／北海道大学附属図書館)

日本各地から 移住してきた人たち

北海道にはアイヌ民族がくらしてきました。開拓使の設置後、札幌には本州や九州、四国に住んでいた人たちが家族をつれて移り住んだのです。その中には、いざという時に兵隊として北海道を守るように訓練を受ける「屯田兵」もありました。冬の寒さが厳しい北海道のくらしは、彼らにとって想像をこえる大変さがあったことでしょう。

生活は馬とともに

今のように自動車も電化製品も一般家庭にはなかった明治時代は、重い荷物を運んだり、畑を耕したり、移動手段としても馬が大活躍していました。生活の道具の多くは木、竹、ワラ、鉄、布、陶器などから作られ、こわれても修理をして長く大切に使っていました。郷土資料館では、昔の生活道具を見ることができます。



(写真／札幌村郷土記念館)



昔の人たちのくらしって、
今とはぜんぜんちがうんだね。

郷土資料館は
どこにあるのかな？



まずは近くの
郷土資料館を調べて、
行ってみない！

にし 西 区 手稲記念館



苦勞の多かった明治期の農機具などが展示されています。

手稲のあゆみがよくわかる！

明治5年(1872年)、西区の西町や宮の沢あたりは上手稲と呼ばれていました。そこに今の宮城県白石市から241人の人々が移り住み、後に手稲町へと発展しました。この記念館では馬そりや農機具などの数々が、当時の生活を伝えてくれます。

住 所：西区西町南21丁目3-10
電 話：011-661-1017
アクセス：地下鉄東西線「宮の沢」駅
5番出口から約560m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
9:00~17:00	○	×	○	×	○	○	×

祝日は休館



昭和初期に使っていた消防用の車。

にし 西 区 琴似屯田歴史館 資料室



開館日は水曜日だけなので、気をつけよう。

琴似のあゆみを深く調べるなら

北海道で一番最初に屯田兵が移り住んだのは、明治8年(1875年)の琴似屯田兵村でした。その後の各地での兵村づくりには、琴似での経験が大きいにかされています。この資料室では、古い文書や本、農機具など貴重な資料を展示しています。

住 所：西区琴似2条7丁目1-10
西区役所分庁舎内
電 話：011-614-8245
アクセス：地下鉄東西線「琴似」駅
1番出口から約350m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
10:00~16:00	×	×	○	×	×	×	×

祝日は休館



地域のあゆみが学べる本がズラリ。

きた 北 区 新琴似屯田兵中隊本部



歴史的にも貴重な建物は、札幌市の文化財に指定されています。

文化財である建物も見どころ！

明治20年(1887年)、札幌で3番目に屯田兵が移り住んだのが新琴似です。男性たちは軍隊の訓練も受けていました。その隊をまとめていたのが「中隊本部」で、この建物が使われていました。現在は兵村でのくらしがわかる資料を展示しています。

住 所：北区新琴似8条3丁目1-8
電 話：011-765-3048
アクセス：JR「新琴似」駅から
約500m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
10:00~16:00	×	○	×	○	×	○	×

12~3月 冬期休館



細かく作られたジオラマ模型も。

きた 北 区 屯田郷土資料館



屯田兵屋では、音声ボタンを押すと家族の会話が流れます。

屯田兵の家を丸ごと展示！

ここでは屯田兵のくらしを伝える模型や、その当時の農業や生活の道具などを展示しています。中でも屯田兵の家をそのまま移築・復元した屯田兵屋は、まるでその時代にタイムスリップしたかのような雰囲気。屯田兵の家族たちの生活が想像できます。

住 所：北区屯田5条6丁目3-21
屯田地区センター1F
電 話：011-772-1811
アクセス：中央バス
「屯田地区センター」停留所

開 館	月	火	水	木	金	土	日
13:00~16:00	×	○	○	○	○	○	○

今の道具と何がちがうかな？



昔のくらしの道具は どんなものだったの？



郷土資料館には **明治時代～大正時代～昭和の**
はじめごろまでのくらしで使われた日用品が
展示されているから、今とくらべて
地域での生活がどう変わったのか、考えてみよう。



明治のころ



いぶこ (いじこ)

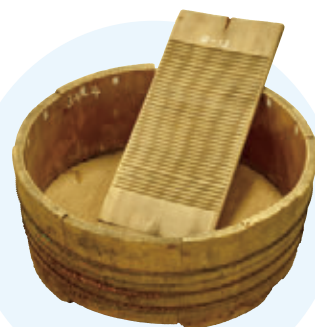
わらで編まれた赤ちゃん用の
かご。農作業でいそがしかった
昔の人々は、これに赤ちゃん
を入れてるす番をさせていま
した。

(写真／あしりべつ郷土館)

かんじき

わらぐつやくつの下に
着けて、足が雪にめり込
まないようにする道具です。

(写真／新琴似屯田兵中隊本部)



せんたく板、たらい

昭和のはじめごろにせんたく
機が登場するまでは、たらい
に石けん水をはり、きざみ目
の入った板を使って洗って
いました。

(写真／屯田郷土資料館)



ば 馬そり

明治から昭和30年代前半ぐらいまで、
荷物や人を運ぶため馬そりが使われ
ていました。これはロシア式を
改良した「札幌馬そり」です。

(写真／手稲記念館)



ここでクイズ！

明治のころはまだゴム長ぐつは
なかったんだ。
深い雪の中を歩くと、
どなんくつをはいていたか
分かるかな？

答えは…
郷土資料館に本物があるから、行って調べてみよう。
(屯田郷土資料館、札幌村郷土記念館、福住開拓記念館にあるよ！)
裏表紙にもヒントがあるかも…？



何でできて
いるのかな？

大正～昭和前期

ラジオ

大正14年(1925年)に日本で
はじめてのラジオ放送が開始。
テレビが家庭に置かれる
ようになる昭和30年代半ばま
で、ラジオは人々のくらしに欠
かせない存在でした。

(写真／屯田郷土資料館)



でんわき 電話機

明治時代に登場した電話機ですが、多く
の家庭に置かれるようになってきたのは
昭和40年代以降でした。左は手回し式
電話機、下はダイヤル式黒電話。

(写真／屯田郷土資料館、つきさつ郷土資料館)



れいぞうこ 冷蔵庫

まだ電気冷蔵庫がなかった大正
時代から昭和のはじめごろまで
は、大きな氷の中に入れて、その冷
気で食品を冷やしていました。

(写真／あしりべつ郷土館)

各郷土資料館には、
この他にも色々なものが
展示されているよ！



ちくおんき 蓄音機、レコード

明治の終わりごろにはレコードで音
楽を楽しむ蓄音機が日本で作られ
るようになりました。レコードは今でも
人気があります。

(写真／つきさつ郷土資料館、屯田郷土資料館)

ストーブ

まきや石炭を燃料として部屋
を暖める鉄製のストーブは昭
和のはじめごろには多くの家
庭に置かれました。この上でお
湯をわかすこともできました。

(写真／福住開拓記念館)



昔の小学校の教室には、
こんなストーブがあったよ！



(写真／昭和38年、盤溪小学校。 所蔵／札幌市公文書館)

豊平区 つきさっぷ郷土資料館



この資料館の建物も、軍隊のために建てられたものでした。

軍隊のまちとして知られた月寒

月寒のまちは明治時代に日本の北側を守る軍隊の大きな部隊が置かれて、発展していきました。この資料館には、昔の農業の道具や、いくつかの戦争にかかわった月寒の軍隊についての資料などがたくさん展示されています。

住所：豊平区月寒東2条2丁目3-9
電話：011-854-6430
アクセス：地下鉄東豊線「月寒中央」駅
1番出口から約900m

開館	月	火	水	木	金	土	日
10:00～16:00	×	×	○	×	×	○	×

12～3月 冬期休館

月寒中学、高校のすぐ近く！



本物の軍服がたくさん！

豊平区 福住開拓記念館



かべ一面に描かれた当時の風景は見ごたえがあります。

福住のあゆみを学ぶなら

明治4年(1871年)に6戸の家族が岩手県から移住したことから、かつて「六軒村」と呼ばれていた豊平区福住地区。館内では明治から昭和の人々のくらしを伝える展示や、そりをひいて働く馬の姿を再現したコーナーも人気です。



昔の生活道具がたくさん！

住所：豊平区福住1条4丁目13-17
福住まちづくりセンター併設
電話：011-855-6615
アクセス：地下鉄東豊線「福住」駅
3番出口から約1km

開館	月	火	水	木	金	土	日
9:00～17:00	○	○	○	○	○	×	×

祝日は休館



福住小川公園にも近いよ！

豊平区 平岸郷土史料館



平岸児童会館の中にあるので、まずは窓口に声をかけてね。

リンゴの名産地だった平岸

平岸は明治8年(1875年)ごろに開拓使からリンゴの苗木が配られたことから、リンゴの一大生産地となり、海外へも輸出するほどでした。そんな平岸とリンゴの歩みをはじめ、地域のあゆみを縄文時代から振り返る小学生の絵画も力作です。

住所：豊平区平岸3条9丁目15
平岸児童会館内
電話：011-812-2493
アクセス：地下鉄南北線「平岸」駅
3番出口から約600m

開館	月	火	水	木	金	土	日
8:45～18:00	○	○	○	○	○	○	×

祝日は休館



イオン札幌平岸店にも近いよ！



この地区から出てきた縄文土器。

清田区 あしりべつ郷土館



明治～昭和時代の生活用品や農業道具なども、たくさん展示しています。

清田区のあゆみを調べてみよう

その昔、清田区は「あしりべつ」と呼ばれていました。この地を流れる厚別川のことをアイヌ民族の人々が「アシュシヘツ」と呼ぶことに由来しています。そんな清田区のあゆみを分かりやすく、たくさんの資料や動画を通して伝えています。



公式ホームページには動画も！

住所：清田区清田1条2丁目5-35
清田区民センター内
電話：011-885-0869
アクセス：中央バス「清田小学校」停留所
から約520m

開館	月	火	水	木	金	土	日
10:00～16:00	×	×	○	×	×	○	×

区民センター休館日は休み
祝日は休館



清田公園にも近いよ！

おじいちゃん、おばあちゃんたちは
どんな遊びをしていたの？



今のおじいちゃんやおばあちゃんたちが子どもだった、
昭和20～30年代はゲーム機もパソコンもない時代。
友達や妹、弟たちと、**家の外で元気に遊んでいたんじや。**



こんな遊びが
人気だったよ！

(写真/昭和33年、札幌市内。 所蔵/札幌市公文書館)

スキー・そり

冬にスキーやそりで遊ぶのは今の札幌の子ども
と同じですね。でも、プラスチック製品が今ほど
当たり前ではなかったこの時代、スキーやそりは
木で、ストックはなんと竹で作られていました。

竹で作られた
ストック

(写真/つきさつ郷土資料館)

木で作られた
スキー

(写真/あしりべつ郷土館)

フラフープ

昭和33年(1958年)にアメリカで大流行
したフラフープが、日本にも上陸。子ども
から大人まで大ブームになり、道ばたで
腰を回して遊ぶ子どもたちの姿があちこ
ちで見られました。



(写真/昭和32年、札幌市内。
所蔵/札幌市公文書館)

木で作られた
子どもそり



(写真/つきさつ郷土資料館)



パッチ(めんこ)

野球選手やスターなどの絵が印刷された、丸や
四角の厚紙(めんこ)。地面にいきおいよく打って、
相手のめんこを裏返しにできれば勝ち。男の子
たちに人気がありました。

火がついて
あわてた
たぬきは...



紙しばい

紙しばい屋さんが来ると、子どもたちはお小づ
かいをにぎりしめてかけつけ、アメなどのお菓子を
買って食べながらお話を楽しみました。



ベーゴマ

床(とこ)と呼ばれる土
俵の上で、鉄製のコマ
を回してはじき飛ばし合う
遊び。パッチと同じく、テクニックが必要。



イチ・ニ
イチ・ニ

竹馬

竹の節に足を乗せる横木
を取り付けた遊び道具。
うまくなると高さを上げたり、
片足ではねたりもでき
ます。



もうすぐ
ごはんよー

ままごと

女の子たちは、これわ
たり使えなくなった台所用
品などを使って、草や花を食材
のかわりにしてお母さんごっこを
していました。

他にも、水でっぼう、けん玉、お手玉、
ビー玉、コマ、ゴムまりつき、ゴムとびなど、
今も楽しまれている遊びがたくさん
あるんじや。



つきさつ郷土資料館
には、昔の子どものおも
ちゃがいろいろ展示され
ています。

ひがし 東区 さつ ぼろ むら きょう ど き ねん かん
札幌村郷土記念館



大友亀太郎の銅像が迎えてくれますよ。

住 所：東区北13条東16丁目2-6
電 話：011-782-2294
アクセス：地下鉄東豊線「環状通東」駅
4番出口から約350m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
10:00～16:00	×	○	○	○	○	○	○

月曜が祝日の場合は翌日も休館
祝日の翌日休館



環状通東駅から歩いてすぐだよ！



玉ねぎ栽培に使った道具がズラリ。

お友 とも かめ た う
大友亀太郎を知っているかい？

現在の創成川のもととなった「大友堀」を、江戸時代の終わりに造りあげた大友亀太郎。彼のくらしした役宅があった場所に建つ記念館では、大友堀や亀太郎について学べます。日本で初めて生産された玉ねぎ「札幌黄」についてもくわしく紹介しています。

しろ いし 白石区 しろ いし きょう ど かん
白石郷土館



白石のまちがどう発展していったのかが、よく分かる！



映像資料コーナーもあるよ。

住 所：白石区南郷通1丁目南8-1
白石区複合庁舎1階
電 話：011-861-2405(区総務企画課)
アクセス：地下鉄東西線「白石」駅直結

開 館	月	火	水	木	金	土	日
8:45～17:15	○	○	○	○	○	×	×

第2土・日曜は開館
祝日は休館



同じ建物には「えほん図書館」もあるよ！

しろ いし 「白石」の地名はどこから？

白石区役所が入っている建物の1階には、歴史番組に出てくるような甲冑がかざられています。それを目印に、中をのぞいてみてください。明治4年(1871年)に宮城県白石城内外から移り住んだ片倉家家臣の物語などを含めて、じっくり学ぶことができます。

みなみ 南区 みす まい きょう ど し りょう かん
簾舞郷土資料館



建物は大事な札幌市指定の文化財。北海道遺産にも選ばれています。

住 所：南区簾舞1条2丁目4-15
旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)
電 話：011-596-2825
アクセス：じょうてつバス「旧簾舞通行屋前」停留所から約150m、または「東簾舞」停留所から約400m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
9:00～16:00	×	○	○	○	○	○	○

月曜が祝日の場合は翌日を休館、祝日の翌日は休館



簾舞小学校のすぐ近くだよ！



定山溪鉄道で使われていた「タブレット閉塞機」。

昔の農家のくらしが分かる

明治5年(1872年)、宿泊や休けい、馬の乗りつぎの場として建てられ、のちに開拓農家の黒岩家が4代にわたってくらしした「旧黒岩家住宅」。資料館はその中にあり、明治時代の農家のくらしを伝える生活道具や定山溪鉄道の資料も展示しています。

みなみ 南区 じょう ざん けい きょう ど はく ぶつ かん
定山溪郷土博物館



昔はこんな駅があったんだね。



移転オープン予定の博物館イメージ。

住 所：南区定山溪温泉西1丁目
定山溪学園敷地内
電 話：011-598-2012(定山溪観光協会)
アクセス：じょうてつバス「定山溪神社前」停留所から約240m

開 館	月	火	水	木	金	土	日
9:00～16:00	○	○	○	○	○	○	○

博物館に入館するには観光案内所で事前にカードキーを借りてください



令和7年(2025年)移転オープン予定
開館時間、開館日などは予定です

ここでカギを借りてね！

じょう ざん けい おん せん おとす
定山溪温泉を訪れた時に！

定山溪温泉の始まりは江戸時代までさかのぼります。江戸時代の終わりごろ美泉定山という人物がアイヌ民族の若者の道案内でこの温泉に出合い、開拓使に働きかけて道路を通し、温泉場を開きました。定山溪のあゆみがよく分かる博物館です。

知ってるかな？ 北海道の郷土料理

「郷土料理」とは、
地域に古くから伝わる料理のこと。
北海道にもたくさんの郷土料理があるんです。
君も食べたことがあるかな？
(イラスト／西村 昌実)

石狩鍋

北海道を代表する魚であるサケの切り身やアラ
(中骨など)を、キャベツやタマネギ、とうふ、ツキ
コンニャクなどと共に煮込んだ味噌鍋です。
もともとは漁師が大漁を祝って食べていた
料理だと言われています。



ニシン漬

明治から大正時代にかけて北海道の日本
海側にはニシンが大群で押し寄せ、小樽
や増毛などの港まちは大きく栄えていまし
た。干物にしたニシンを野菜と一緒に漬け
ものにした「ニシン漬」は、そのころから
今も北海道で愛されています。



これが
囲炉裏だよ

(写真／屯田郷土資料館)

郷土資料館で気になったものや、
興味をひかれたことなど、何でも書いてね！

MEMO

訪ねた郷土資料館 _____ 訪ねた日 _____

訪ねた郷土資料館 _____ 訪ねた日 _____

郷土資料館って、
どんなところ？

郷土資料館
(西区・北区)

昔のくらしの
道具は？

郷土資料館
(豊平区・清田区)

どんな遊びを
していたの？

郷土資料館
(東区・白石区・南区)

北海道の郷土料理